

問1 ヨーロッパ州に位置し、セーヌ川沿いに発展したフランスの首都を何という？

1. ロンドン 2. パリ 3. ローマ 4. ベルリン

問2 地中海沿岸に見られる、夏に乾燥し冬に雨が多く降る気候を何という？

1. 亜寒帯気候 2. 温暖湿潤気候 3. 地中海性気候 4. 西岸海洋性気候

問3 ロシアの北部に見られる、寒さが厳しく樹木がほとんど育たない土地を何という？

1. タイガ 2. ステップ 3. サバナ 4. ツンドラ

問4 農作物の栽培と何を組み合わせた農業形態を混合農業という？

1. 野菜の栽培 2. 家畜の飼育 3. 穀物の栽培 4. 果樹の栽培

問5 イタリアや地中海沿岸に見られる、夏に高温で乾燥し、冬に雨が降る気候を何という？

1. 地中海性気候 2. 亜寒帯気候 3. 温暖湿潤気候 4. 西岸海洋性気候

問6 18世紀後半にイギリスで始まり、石炭や鉄鉱石を活用して重工業が発展した技術と社会の変革を何という？

1. フランス革命 2. ルネサンス 3. 産業革命 4. 宗教改革

問7 冷涼で安定した気候を活かし、ヨーロッパ各地で盛んに行われている、牛などの家畜を飼育して乳製品を作る農業を何という？

1. 園芸農業 2. 混合農業 3. 地中海式農業 4. 酪農

問8 ウクライナの広大な平原に広がる、肥沃で小麦などの栽培に適した土壌を何という？

1. ラトソル 2. 黒土（チェルノーゼム） 3. 黄土 4. 砂漠土

問9 スイスからドイツなどを経て北海へ流れる、ヨーロッパで最も重要な河川のひとつを何という？

1. 半島 2. 湾 3. 国際河川 4. 運河

問10 耕作に向かない土地や牧草地を利用し、牛や羊を飼育する農業を何という？

1. 混合農業 2. 酪農 3. 企業的穀物農業 4. 地中海式農業

問11 フランスやドイツなどが中心となり、ヨーロッパの統合を目指して結成された地域連合を何という？

1. 東南アジア諸国連合 2. 欧州連合（EU） 3. 国際連合 4. 北アメリカ自由貿易協定

問12 ヨーロッパの西岸海洋性気候に大きな影響を与え、北大西洋海流とともに冬の気温を温暖に保つ一年中吹く風を何という？

1. 偏西風 2. 貿易風 3. 季節風 4. 極東風

問13 ドイツが世界的に高い競争力を持ち、ルール工業地帯などでさかんな工業分野を何という？

1. 化学工業 2. 自動車工業 3. 航空機産業 4. 鉄鋼業

問14 通貨の価値が変動することで生じる損失の可能性を何という？

1. カントリーリスク 2. 信用リスク 3. 為替リスク 4. 流動性リスク

問15 北大西洋海流が流れ込み、プランクトンが豊富なため古くから知られている場所を何という？

1. 世界的な大農園 2. 世界的な工業地域 3. 世界的な人口密集地 4. 世界的な漁場

答え合わせ・解説

問1	答え 2 パリ	パリはフランス北部に位置し、中世からフランス王国の中心として発展しました。歴史的な街並みが現在も保存されており、美術館や歴史的建造物が多く集まる文化の都としても知られています。また、フランスの行政や産業の拠点として、現在もヨーロッパ全体の交通や経済に大きな影響を及ぼしています。
問2	答え 3 地中海性気候	この気候は「地中海性気候」と呼ばれます。最大の特徴は、温暖でありながら、夏には雨が非常に少なく乾燥し、逆に冬には比較的雨が降ることです。この乾燥した夏という環境に適応するため、現地では古くから乾燥に強い植物を育てる工夫がなされてきました。日照時間が長いこと、夏は観光地としても非常に人気が高い気候帯です。
問3	答え 4 ツンドラ	このような寒冷環境では地表の下が凍ったまま（永久凍土）であるため、背の高い樹木が根を張ることができず、コケや地衣類などの限られた植物しか生育しません。この厳しい気候帯をツンドラと呼びます。
問4	答え 2 家畜の飼育	混合農業とは、小麦や大麦などの穀物栽培と、牛や豚などの家畜の飼育を一つの農家で並行して行う形態です。家畜の排泄物を肥料として畑に還元し、逆に畑でとれた飼料を家畜に与えるという、循環型の生産システムをとっています。
問5	答え 1 地中海性気候	地中海性気候は、夏には雨が少なく乾燥しており、冬には比較的温暖で雨が降るといった独特の気候です。この環境では、乾燥に強いオリーブやぶどう、柑橘類などの果樹栽培が非常にさかんで、イタリアの農業を支える基盤となっています。また、この温暖で晴天の多い気候は、観光業にも大きな恵みをもたらしています。
問6	答え 3 産業革命	産業革命は、蒸気機関の発明とそれを動力とする機械の導入によって、手作業中心の家内制手工業から工場制機械工業へと大きく転換した出来事です。特に石炭と鉄鉱石の豊富な資源を活用することで、イギリスは世界の工場として急速に成長を遂げました。
問7	答え 4 酪農	この環境を活かして、牧草を育て、牛を放牧して牛乳などを生産する酪農が非常に盛んです。特にデンマークやオランダなどは酪農製品の輸出が有名です。
問8	答え 2 黒土（チェルノーゼム）	黒土（チェルノーゼム）は、腐植分を多く含んだ非常に肥沃な土壌で、色が黒いのが特徴です。この土壌があるおかげで、ウクライナは「ヨーロッパのパンかご」と呼ばれるほど、小麦をはじめとする穀物の生産が非常に盛んです。気候条件も適しており、大規模な農業経営に適した環境が整っています。
問9	答え 3 国際河川	国際河川は、複数の国を流れ、その利用について条約などでルールが決められている河川です。ライン川はその代表例であり、スイス、ドイツ、フランス、オランダなどを流れています。これらの国々で水運を共同利用することで、効率的な物流網が築かれています。
問10	答え 1 混合農業	混合農業では、作物の栽培だけでなく、土地を有効活用して家畜を飼育することで、経営を安定させます。牧草地を家畜のえさとして使い、同時に穀物も作ることで、農家はリスクを分散させることができます。
問11	答え 2 欧州連合（EU）	欧州連合（EU）は、加盟国間で関税を撤廃し、通貨の統一（ユーロ）を行うなどして経済的な一体化を推進しています。また、国境検査をなくして市民が自由に移動・労働できる仕組みも構築しました。ドイツやフランスが中心となって加盟国を増やし、現在では政治的な決定にも協力する枠組みとなっています。
問12	答え 1 偏西風	大西洋を渡る際に温められた海風が偏西風に乗ってヨーロッパへ運ばれます。これにより、同緯度の他の地域と比べて、ヨーロッパは冬でも気温があまり下がらない温暖な気候となります。この温暖な気候のおかげで、北緯の高い場所でも農業や生活がしやすくなっています。
問13	答え 2 自動車工業	その中でも自動車工業は、ドイツの輸出を支える最も重要な産業の一つです。優れた職人技術と高い研究開発力を背景に、世界的な自動車メーカーが多数存在しています。ミュンヘンなどの南部都市でも、高い技術力を活かした自動車や機械関連の産業が発達しており、ドイツの経済的地位を確固たるものにしていきます。
問14	答え 3 為替リスク	為替リスクとは、異なる通貨同士で取引を行う際に、支払う時と受け取る時のレート差によって損益が発生する可能性のことです。共通通貨であるユーロを採用することで、加盟国間ではこの変動を気にする必要がなくなります。
問15	答え 4 世界的な漁場	北海には北大西洋海流という暖流が流れ込んでいます。暖流と寒流がぶつかり合う海域にはプランクトンが非常に多く、それを餌とする魚たちが大量に集まってきました。これにより、北海は古くからヨーロッパ有数の「世界的な漁場」として、多くの漁船が活動する場所となりました。タラやニシンといった魚介類が、沿岸諸国の食文化を支えています。